

# CE350/CE370

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書はATENジャパン株式会社において、CE350/CE370 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2019 年 1 月 7 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピュータのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではありません。

キーボード、マウス、モニター、コンピュータ等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みにになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～3 年間	無償修理
	3 年以上	有償修理※2
②型番 CL から始まる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30 日	初期不良、新品交換※1
	31 日～2 年間	無償修理
	3 年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

### 【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。が、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<http://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
EMC に関する情報.....	3
RoHS.....	3
安全にお使い頂くために.....	4
全般 .....	4
ラックマウント .....	6
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
第1章 はじめに.....	10
概要 .....	10
特長 .....	12
システム要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター .....	13
ケーブル .....	14
OS.....	14
製品各部名称 .....	15
CE350L/CE370L(ローカルユニット) フロントパネル.....	15
CE350R(リモートユニット) フロントパネル.....	16
CE370RQ(リモートユニット) フロントパネル .....	17
リアパネル.....	18
サイドパネル.....	18
第2章 セットアップ方法.....	19
ラックへの取り付け.....	19
セットアップ .....	21
製品の接地.....	21
セットアップ .....	23
接続図 .....	24

第3章 操作方法.....	26
操作モード .....	26
操作モードの選択 .....	27
画質補正とデスキュー .....	28
CE350.....	28
CE370RQ .....	28
LED ランプの表示 .....	30
CE350L/CE370_L (ローカルユニット) .....	30
CE350R(リモートユニット) .....	31
CE370RQ (リモートユニット) .....	32
付録.....	33
製品仕様.....	33
CE350.....	33
CE370.....	36
トラブルシューティング .....	39
SPHD コネクターについて .....	39



## EMC に関する情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 のデジタル装置 Class A の規定に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)本製品による有害な干渉が発生しない。(2)本製品は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信した干渉を全て受け入れる。

**FCC による注意:**本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

**CE による注意:**本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



# 安全にお使い頂くために

---

## 全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせる適切な処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがあります

ので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。

## 同梱品

---

CE350/CE370 の製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CE350L または CE370L PS/2 KVM エクステンダー (ローカルユニット) ×1
- ◆ CE350R または CE370RQ PS/2 KVM エクステンダー (リモートユニット) ×1
- ◆ PS/2 KVM ケーブル (1.8m) ×1
- ◆ 電源アダプター ×2
- ◆ ラックマウントキット ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CE350/CE370 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアルは下記のとおり構成されています。

**第1章 はじめに:** CE350/CE370 を紹介します。特長、機能概要および製品各部名称について説明します。

**第2章 セットアップ:** 手早く安全に CE350/CE370 をセットアップする手順について説明します。

**第3章 基本操作:** CE350/CE370 の機能概要および操作方法について説明します。

**付録** CE350/CE370 の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

[     ]                      入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] +[Alt]のように表記してあります。

1.                              番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆                              ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→                              矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

CE350/CE370 は自動信号補正機能と RS-232C シリアル機能を搭載した PS/2 タイプ KVM エクステンダーで、リモート PS/2 コンソール (PS/2 キーボード、モニター、PS/2 マウス) からコンピューターの操作が可能になります。CE350/CE370 を使うことでリモートコンソールからコンピューターシステムにアクセスできるため、コンソールとコンピューターの間の距離を意識せずにシステムを構築することが可能です。例えば、埃などが多い工場現場や建設現場といった環境では、コンピューターシステムは事務所の安全な場所に設置する一方で、コンソールは埃や振動を気にすることなく、現場の使い勝手の良い場所に置くことが可能になります。

画像の品質を最大限に確保するために CE350 は自動ゲイン調節機能を搭載し、CE370 はデスクュー機能 (ATEN 特許) により長距離送信で発生する RGB 位相やタイミング遅延のエラーを修正します。これはまた、RGB 信号の送信を手動で調整でき、メモリーボタンを使用して調整値を保存し、後でその調整値を呼び出すこともできます。

CE350/CE370 はコンソールをユーザーが操作するのに最も便利な場所に置いておくのと同じ時に、システムユニットは安全な場所に置いておくことができるので、管理やセキュリティの点から見ても非常に使い勝手の良い製品です。これは機密性の高いデータシステムを管理するのに理想的です。

CE350/CE370 は以下の点で従来の機種よりも改良されています。1) 自動信号コントロール機能 (ASC)、2) ローカルとリモートユニット共に RS-232C ポートを追加。ローカルユニットの RS-232C ポートは設定用のシリアル端末に接続でき、リモートユニットの RS-232C ポートはタッチパネルやバーコードスキャナーなどのシリアルデバイスに接続可能。3) ローカルユニットに専用の KVM ポートセクションを追加したことで、KVM スイッチをシンプルかつ簡単に既存システムへと導入可能。4) 値段が高く、かさばる標準ケーブルを使用する代わりに、手頃な価格の Cat 5e ケーブルを使用するので、よりすっきりし、便利で、より信頼できるデータ送信の接続を実現。5) システムまでの距離を感知し、それに合わせて自動的にゲイン調整を実行。6) カスタム ASIC 機能により信頼性と互換性を最大限に確保。



さらに、CE350/CE370の重要な特長は、8KV/15KV 静電放電防止機能と2KV 電圧サージ防護機能が搭載され、リモートコンソールの画像調節ができるようにリモートユニットにはカラー調整画質補正押しボタンが搭載されている点です。リモート画像は自動的に調整され、その設定は保存されます。

セットアップはとても簡単で、コンピューターシステムとローカルコンソールをローカルユニット(CE350L/CE370L)に接続し、300mまでの Cat 5e ケーブルを使用してローカルユニットとリモートユニット(CE350R/CE370RQ)を接続し、そして、リモートコンソールをリモートユニットに接続するだけです。

## 特長

---

- ◆ Cat5e ケーブルを使用して、ローカルとリモートユニットを 300mまで延長可能
- ◆ デスキュー機能(CE370 のみ)－延長距離に応じて、RGB 信号の遅延を自動的に補正
- ◆ オンスクリーンディスプレイ(CE370 のみ)－直感的な OSD メニューシステムでビデオ画質を簡単に調節可能
- ◆ 自動ゲイン調節 - 距離に応じて、信号の強さを手動/自動で補正
- ◆ デュアルコンソール操作－ローカルとリモートキーボード、モニター、マウスコンソールの両方からシステムの操作が可能
- ◆ ASIC 搭載で信頼性と互換性を向上
- ◆ 自動信号補正機能(ASC)－設定保存機能
- ◆ RS-232C シリアルポート－シリアル端末機、タッチパネルやバーコードスキャナーなどのシリアルデバイスの接続が可能(ボーレート 115200bps)
- ◆ オーディオ対応－ステレオスピーカーとマイク対応
- ◆ プッシュボタンによる操作モード切替(ローカルユニットのみ)－ボタンを押してローカルと自動操作モードの選択が可能
- ◆ 8KV/15KV ESD 保護(接触放電 8KV、空中放電 15KV)および 2KV サージ保護
- ◆ 解像度－最大 1920×1200@60Hz (150m)、1280×1024@60Hz (300m) (CE370)
- ◆ オーディオ対応－300m の距離でもオーディオ品質を保持
- ◆ ワイド画面のフォーマットに対応
- ◆ VGA、SVGA、SXGA(1280×1024)、UXGA(1600×1200)、WUXGA(1920×1200)、マルチスキャンモニター対応、ローカルモニターは DDC、DDC2、DDC2B 準拠
- ◆ ホットプラグ対応
- ◆ ラックマウント対応
- ◆ 簡単セットアップ－ソフトウェア不要、デバイスにケーブルを接続するだけ

---

**注意:**      \* ワイド画面からの EDID データは、ローカル側のビデオ出力ポートから送出されます。ワイド画面用モードやワイド画面对応のディスプレイの場合には、モニターをローカル側のビデオ出力ポートに接続するか、ATEN の EDID エミュレーター(型番:2A-130G)をお使いください。

---

## システム要件

---

### コンソール

- ◆ 接続するコンピューターの最高解像度に対応した VGA、SVGA、SXGA、UXGA、WUXGA、またはマルチスキャンモニター

---

**注意：** DDC タイプのモニターをローカルユニットに接続する場合は、リモートユニットに接続するモニターも DDC モニターが提供する最高解像度に対応しなければなりません。

---

- ◆ PS/2 キーボード
- ◆ PS/2 マウス
- ◆ ステレオマイクおよびステレオスピーカー (オプション)

### コンピューター

システムに接続する各コンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ VGA、SVGA、SXGA、UXGA、WUXGA、またはマルチシンクカード
- ◆ 6 ピン ミニ DIN(PS/2)マウスポート
- ◆ 6 ピン ミニ DIN(PS/2)キーボードポート
- ◆ マイクおよびスピーカーポート (オプション)

## ケーブル

- ◆ 信号の整合性の最適化やレイアウトの簡素化が実現できるよう、本製品に同梱されている高品質カスタム KVM ケーブルの使用を推奨します。
- ◆ CE350/CE370 のローカルとリモートユニットを接続するためには Cat5e ケーブルが必要です。低品質のケーブルを使用すると画像信号の劣化を招きますので、Cat5e ケーブルのご使用を推奨します。

## 最長ケーブル延長距離

接続	距離
コンピューターからローカルユニット (CE350L/CE370L)	10m
ローカルユニットからリモートユニット (CE350R)	150m
ローカルユニットからリモートユニット (CE370RQ)	300m
リモートユニット (CE350R/CE370RQ) からモニター	20m

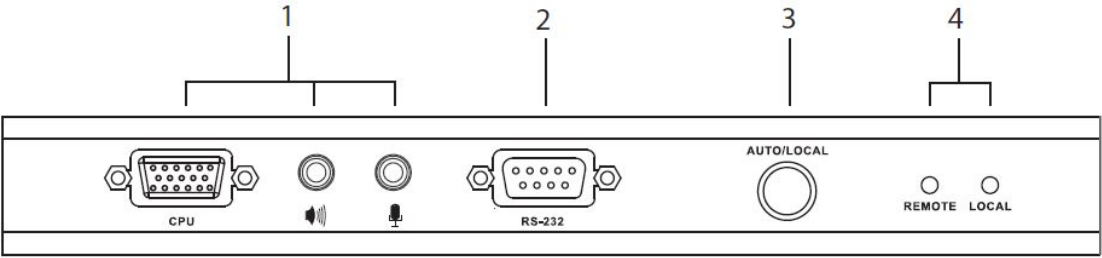
## OS

対応する OS は下表のとおりです。

OS		バージョン
Windows		2000 / 2003 / 2008 / XP / Vista / 7
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 / 11.1 以降
	Debian	3.1 / 4.0
	Ubuntu	7.04 / 7.10
UNIX	FreeBSD	5.5 / 6.1 / 6.2
Novell	Netware	6.0 以降

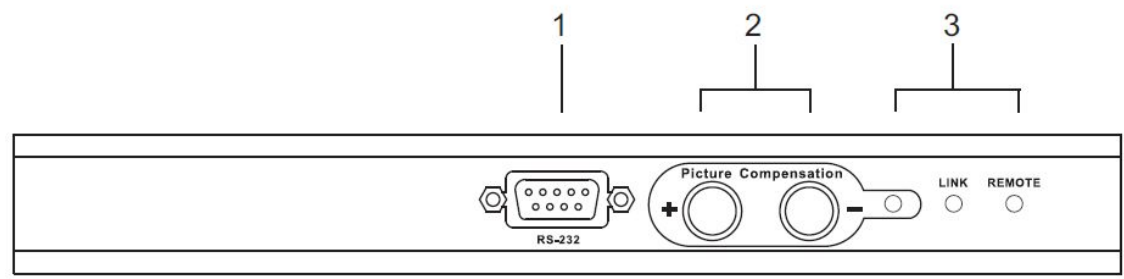
# 製品各部名称

## CE350L/CE370L(ローカルユニット) フロントパネル



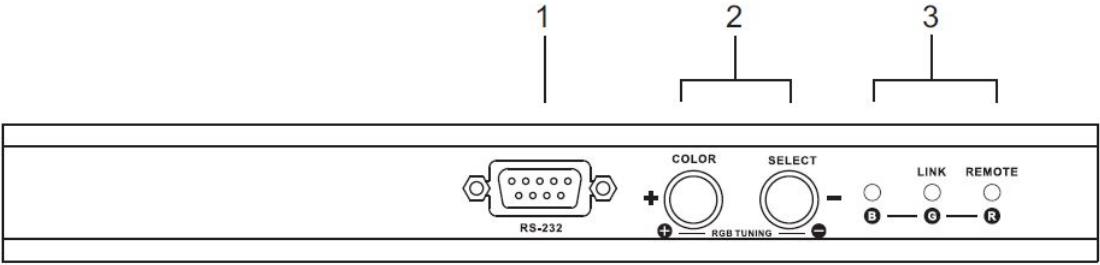
No.	名称	説明
1	KVM ポートセクション	CE350/CE370 に KVM スイッチを組み合わせる場合は、スイッチのコンソールセクションの個別のポートに接続する PS/2 KVM ケーブルをここに接続してください。
2	RS-232C シリアルポート	この RS-232C シリアルポートは設定用のシリアル端末機を接続するためのものです。
3	操作モード プッシュボタン	このプッシュボタンはローカルコンソールから利用できる操作モードを切り替えます。 ◆ ローカルローカルコンソールのみがシステムを操作できます。 ◆ オートローカルとリモートコンソールの両方からシステムが操作できます。 <b>注意:</b> デフォルトの操作モードは「オート」となっています。詳細は、p.26「操作モード」をご参照ください。
4	LED ランプ	CE350/CE370 には LED ランプが 2 つあり、ローカル (CE350L/CE370L) とリモートユニット (CE350R/CE350RQ) ユニットの操作状況を表示します。詳細は、p.30 をご参照ください。

CE350R(リモートユニット) フロントパネル



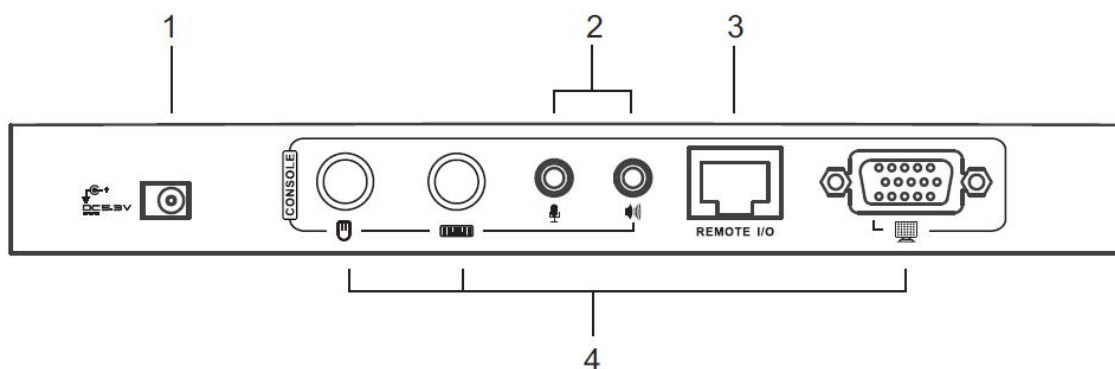
No.	名称	説明
1	RS-232C シリアルポート	タッチパネルやバーコードスキャナーのような RS-232C シリアルデバイスをこのポートに接続します。
2	画質補正 プッシュボタン	このプッシュボタンでリモートコンソールのビデオ画質を調整します。詳細は、p.28「画質補正とデスキュー」をご参照ください。
3	LED ランプ	CE350R には LED ランプが 3 つあり、操作状況を表示します。詳細は、p.31 をご参照ください。

CE370RQ(リモートユニット) フロントパネル

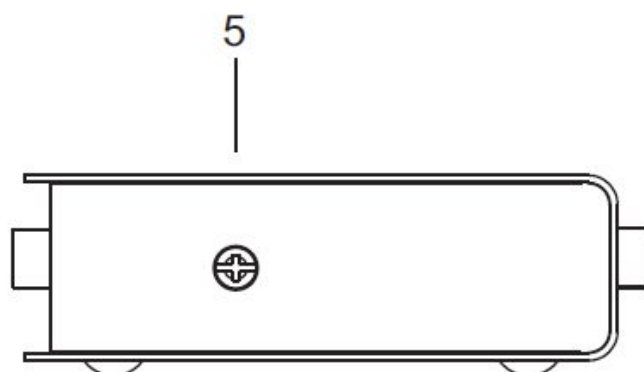


No.	名称	説明
1	RS-232C シリアルポート	タッチパネルやバーコードスキャナーのような RS-232C シリアルデバイスをこのポートに接続します。
2	デスキュー/画質補正 プッシュボタン	このプッシュボタンでリモートコンソールの画像品質を調整します。詳細は、p.28「画質補正とデスキュー」をご参照ください。
3	LED ランプ	CE370RQ には LED ランプが 3 つあり、操作状況と RGB 状況を表示します。詳細は、p.32 をご参照ください。

## リアパネル



## サイドパネル



No.	名称	説明
1	電源ジャック	DC 電源アダプターからのケーブルをここに接続します。
2	オーディオポート	このミニステレオポートはスピーカー（グリーン）とマイク（ピンク）用です。
3	リモート I/O	リモートとローカルユニットを接続する Cat5e ケーブルをここに接続します。
4	コンソールポート	ローカルとリモートコンソールのキーボード、モニター、マウスを各ポートに接続します。
5	グラウンドターミナル	（ユニットを接地するのに使用する）接地線をここに接続します。詳細は、p.21「製品の接地」をご参照ください。



## 第2章 セットアップ方法

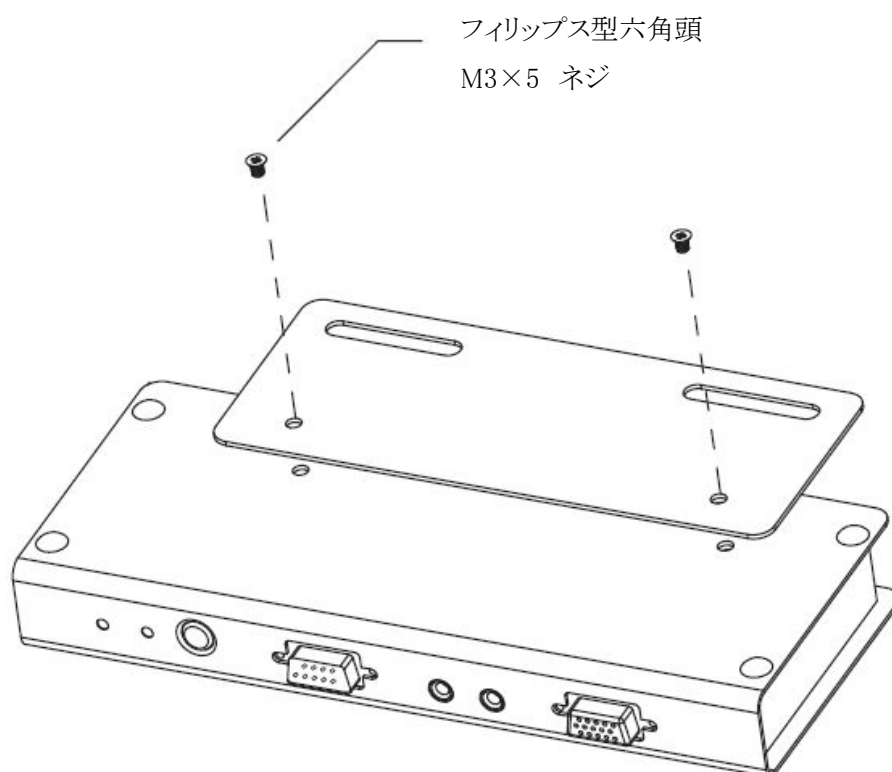


1. 機器の設置に際し重要な情報を p.4 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

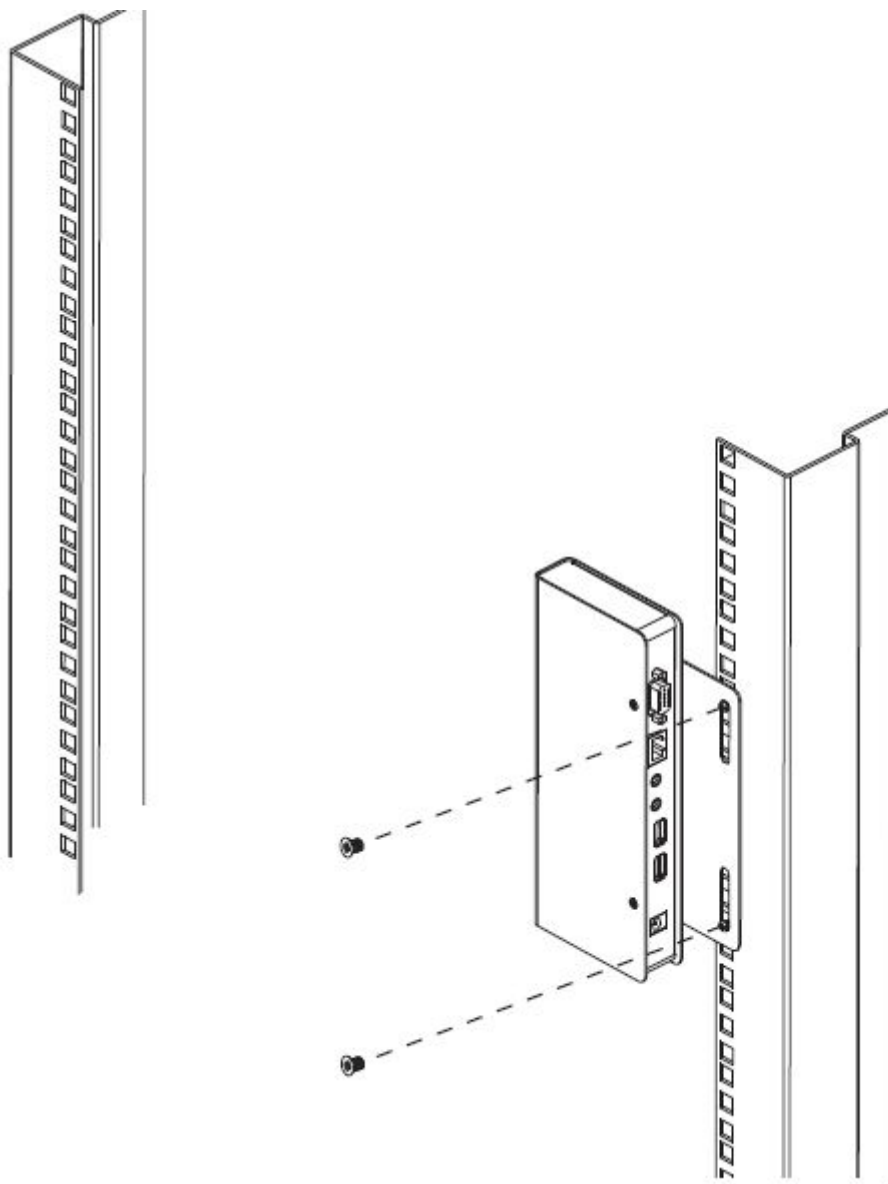
### ラックへの取り付け

システムを便利かつ柔軟にお使いいただけるよう、CE350/CE370 はシステムラックに取り付けることができます。本製品をラックへ取り付けるには、下記の手順に従ってください。

1. ラックマウントキットに同梱されているネジを使用して、下図のように本製品の上面または底面にマウント用の金具をネジ止めしてください。



2. 手順 1 で取り付けした金具をラックの適当な場所にネジ止めしてください。



---

**注意:** ラックにマウントするためのネジは同梱されていません。お使いのラックに適したネジを別途ご用意ください。

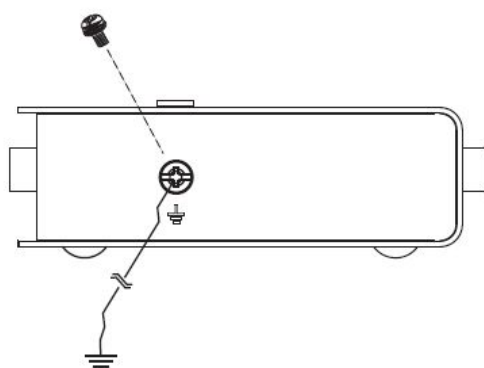
---

## セットアップ

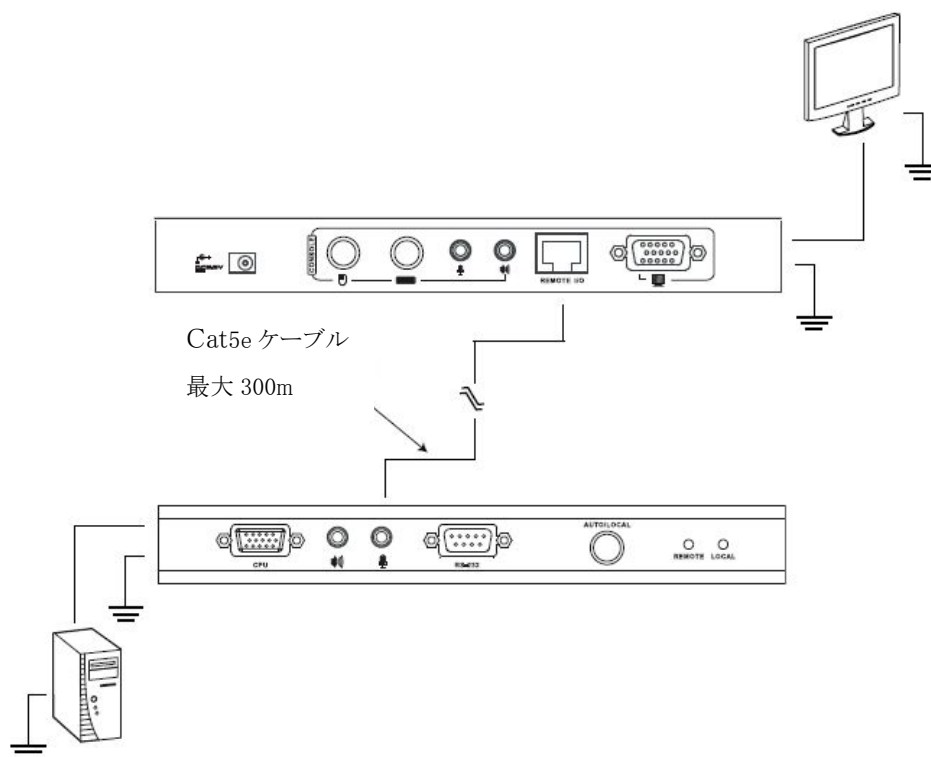
### 製品の接地

ご使用の機器への破損を防ぐために、ご使用する機器すべてに適切な接地をしてください。

1. 接地線を 2 本使用して、片方の端を製品のグラウンドターミナルに、もう片方の端を適切な接地物にそれぞれ接続して、各ユニットの接地を行ってください。

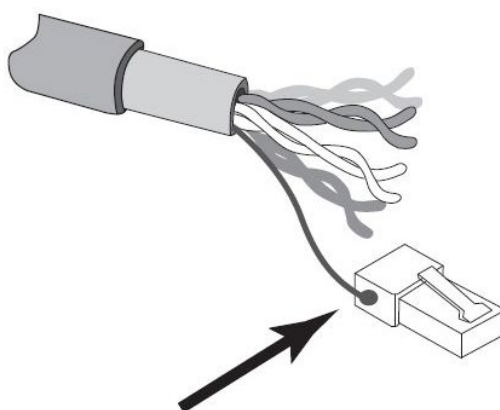


2. ローカルユニットに接続されているコンピューターおよびリモートユニットに接続されているモニターも、それぞれ正しく接地してください。

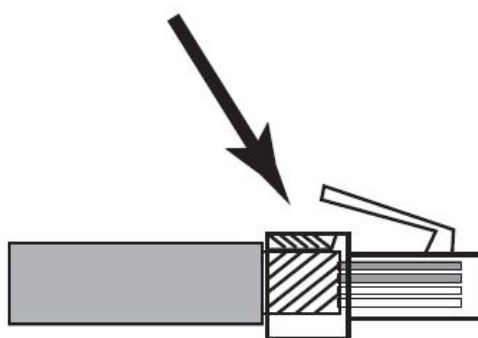


3. 接地の効果を高めるために、ローカル/リモートの各ユニットはSTPケーブルを使って接続してください。方法は2種類あります。

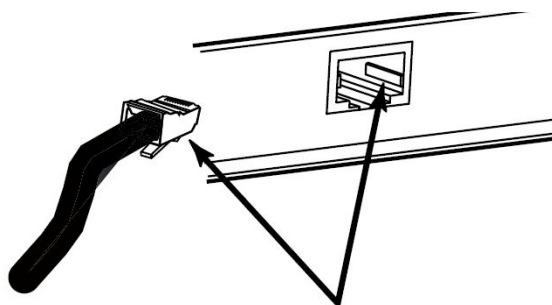
- a) STPケーブルには、信号の伝送に使用する8線以外に接地線を有しているタイプがあります。このタイプのケーブルの場合は、接地線を図のようにRJ-45コネクタにはんだ付けしてください。



- b) 2つ目の方法はSTPケーブルシールドをアースとして使用しているタイプのものです。その場合、下図のようにRJ-45コネクタの中の上部がしっかりとシールドに接触していることを確認してください。



いずれの方法においても、下図のようにRJ-45コネクタのサイドがRJ-45ソケットのサイドにある接地接点としっかり接していることを確認してください。



## セットアップ

CE350/CE370 PS/2 KVM エクステンダーのセットアップに必要な作業は、ケーブルを接続するだけです。接続するデバイスの電源がすべて切られていることを確認してください。次のページにある接続図を参考にしながら、下記の手順でセットアップを行ってください。

1. ローカルコンソールとして使用するデバイス(マウス、キーボード、モニター、マイク、スピーカー)をローカルユニット(CE350L/CE370L)のリアパネルにあるコンソールセクションにある対応ポートにそれぞれ接続してください。各ポートには各デバイスのアイコンが描かれています。
2. 製品に同梱されている PS/2 KVM ケーブルの各コネクタをローカルユニット(CE350L/CE370L)のフロントパネルにある CPU セクションにあるポートにそれぞれ接続してください。
3. 手順2の PS/2 KVM ケーブルのもう一方の端をローカルコンピューターの適切なポートにそれぞれ接続してください。各コネクタにはそれぞれのアイコンが描かれています。

---

**注意:** CE350/CE370 に KVM スイッチを組み合わせる場合は、手順 2 の PS/2 KVM ケーブルのもう一方の端を KVM スイッチの適切なポートに接続してください。

---

4. シリアルデバイスを操作するには、ローカルユニットの RS-232C シリアルポートをローカルコンピューターのシリアルポートに接続してください。
5. Cat5e ケーブルを CE350L/CE370L のリモート I/O ポートに接続し、この Cat5e ケーブルのもう一方の端をリモートユニット(CE350R/CE370RQ)の I/O ポートに接続してください。
6. 本製品に同梱されている電源アダプターのプラグ部分を電源コンセントに接続してから、この電源アダプターのケーブル部分を CE350L/CE370L の電源ジャックに接続してください。
7. リモートコンソールデバイス(マウス、キーボード、モニター、スピーカー、マイク)のケーブルを CE350R/CE370RQ のコンソール側にある各ポートに接続してください。
8. 製品に同梱されている残りの電源アダプターのプラグ部分を電源コンセントに接続してから、この電源アダプターのケーブル部分を CE350R/CE370RQ の電源ジャックに接続してください。

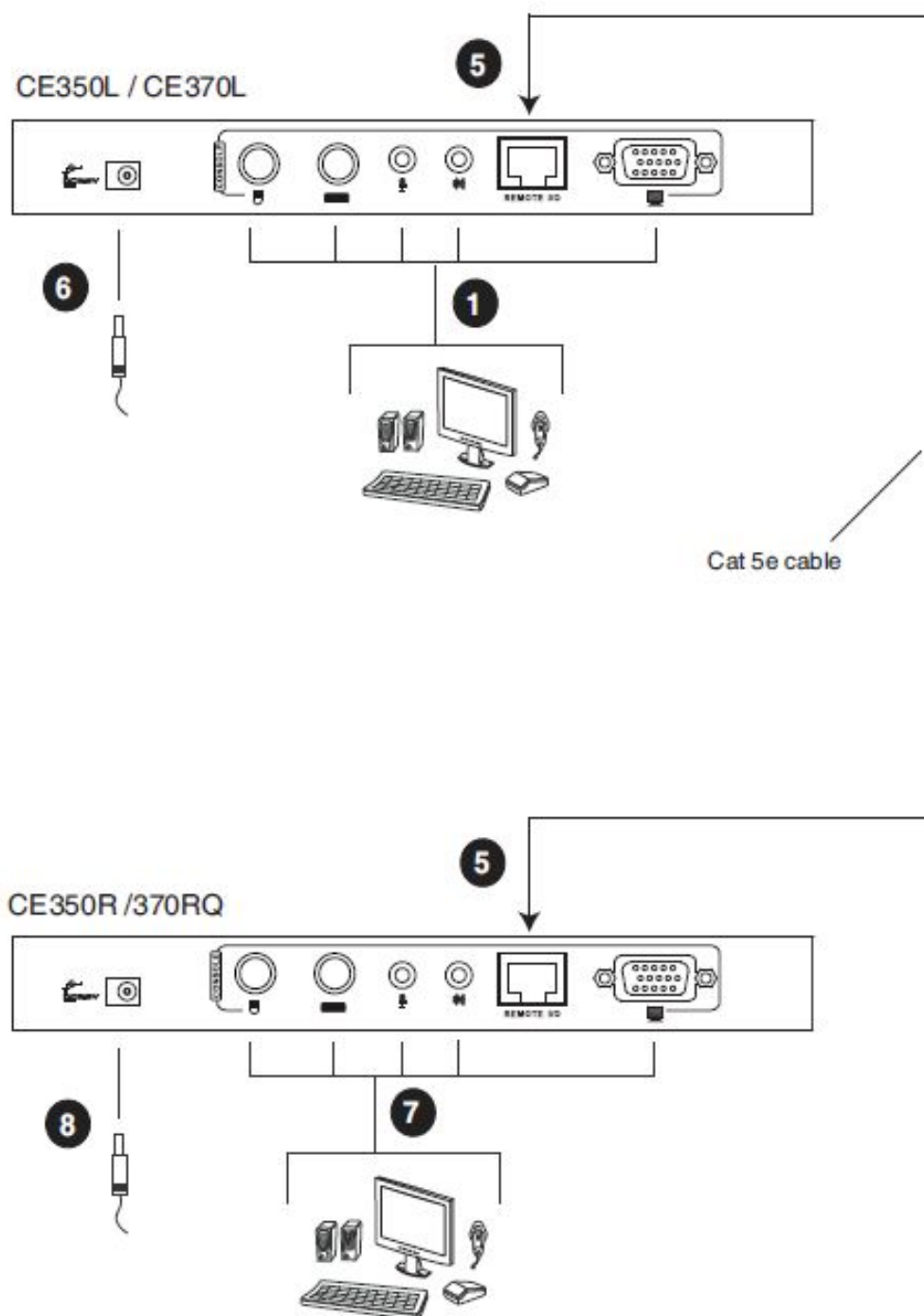
---

**注意:** Cat5e ケーブルをホットプラグすると自動的にデスキュー機能が起動します。

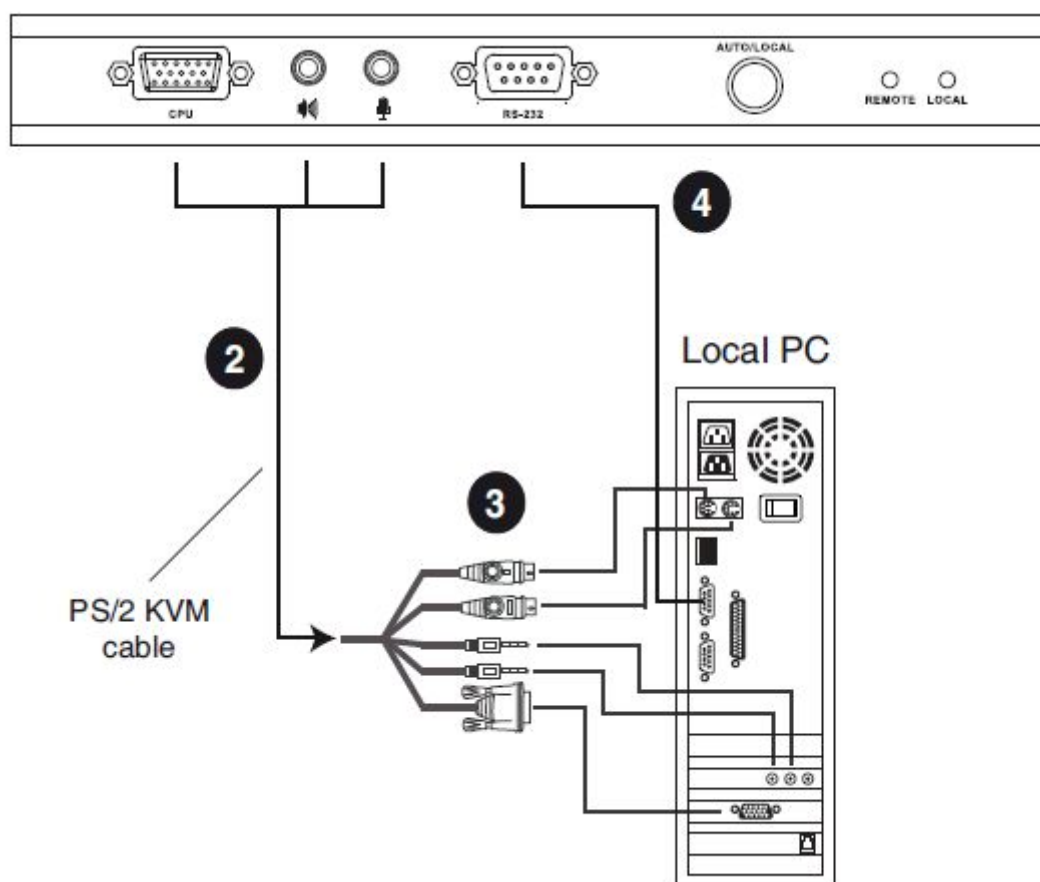
---

## 接続図

### リアパネル



## フロントパネル



**注意:** CE350L/CE370L のシリアルポートにはコンピューターを接続します。CE350R/CE370RQ(この図では示されていません)のシリアルポートにはシリアルデバイスを接続します(オプション)。

## 第3章 操作方法

### 操作モード

CE350/CE370 PS/2 KVM エクステンダーには下表のように、ローカル、オート、リモートの3つの操作モードがあります。

操作モード	説明
ローカル	ローカルコンソールのみがコンピューターを操作できます。リモートコンソールのキーボードとマウスは使用できません。
オート	ローカルとリモートコンソール共にコンピューターの操作ができます。ただし、同時にはアクセスできません。アクセス権のないコンソールは、アクセス権があるコンソールからのデータ入力終了するまで待たなければなりません。
リモート	リモートコンソールでコンピューターの操作ができます。リモートモードはローカルユニット(CE350L/CE370L)のプッシュボタンで「オート」に設定し、ローカルコンソールが待機状態のときに使用可能となります。詳細は p.27 を参照してください。

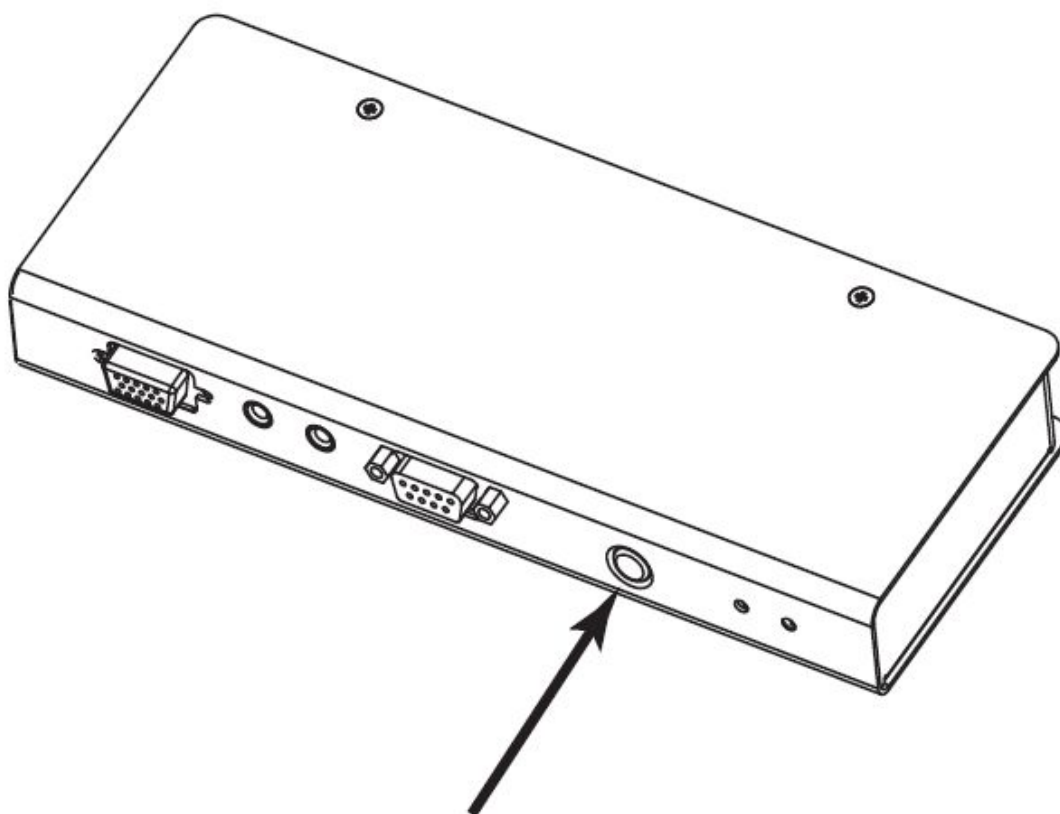
**注意：** 操作モードのデフォルト設定は、「オート」になっています。



## 操作モードの選択

---

ローカルユニットのフロントパネルにある「操作モードプッシュボタン」で、CE350/CE370 PS/2 KVM エクステンダーの操作モードが管理できます。このボタンを押すと、「ローカル」と「オート」に操作モードが交互に切り替わります。



---

**注意:** リモートモードは選択できません。リモートコンソールからコンピューターが操作できるのは、CE350L/CE370L の操作モードプッシュボタンで「オート」に設定され、かつ、ローカルコンソールが待機中のときだけです。リモートコンソールが 5 秒以上待機状態になると、ローカルコンソールからアクセス可能になります。

---

## 画質補正とデスキュー

### CE350

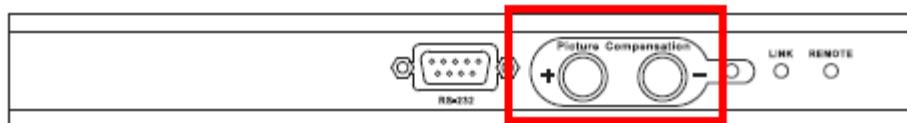
CE350R は、自動および手動によるビデオ調整に対応しています。

#### ◆ 自動調整

- CE350R は ASC(自動信号補正)機能を特長としています。これは、ビデオの調整と設定の保存を自動的に行う機能です。
- CE350Rにおける現在のビデオ補正の設定をリセットし、自動ビデオ調整機能を実行するには、CE350R のフロントパネルにある**画質補正プッシュボタン**(+および-)を 2 秒間長押ししてください。

#### ◆ 手動調整

- ビデオ信号を微調整するには、CE350R のフロントパネルにある**画質補正プッシュボタン**を使って、プラス(+)ボタンを押してビデオ信号の補正を上げたり、マイナス(-)ボタンを押してビデオ信号の補正を下げたりしてください。



### CE370RQ

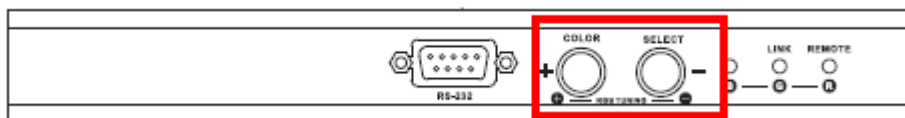
CE370RQ は、自動および手動によるビデオ調整に対応しています。

#### ◆ 自動調整

- CE370RQ は ASC(自動信号補正)機能を特長としています。これは、ビデオの調整と設定の保存を自動的に行う機能です。
- CE370RQ のもう一つの特長はデスキュー機能です。これは、RGB 信号の強さと RGB 各色のタイミングのずれを距離に応じて手動/自動で補正する機能です。この調整は、CE370RQ に Cat5e/6 ケーブルが接続された時に行われます。
- 自動検出機能(RGB 自動補正)を実行し、保存済みの設定をクリアするには、「COLOR」と「SELECT」の各プッシュボタンを同時に長押ししてください。

#### ◆ 手動調整

- ビデオ信号を微調整するには、CE370RQ のフロントパネルにある**デスキュー/画質補正プッシュボタン**を使ってください。詳細は下表のとおりです。



ボタン	説明
COLOR / +	<ol style="list-style-type: none"> <li>このボタンを押して指を離すと、レッドカラーモードになります。 (+)または(-)を使用して、調節してください。</li> <li>このボタンを 2 秒間長押しすると、OSD が起動します(カラーが選択されていない場合)。</li> <li>このボタンを 2 秒間長押しすると、カラーモードまたは補正を変更します(選択されている場合)。R→G→B→ビデオ補正→exit→R・・・の順に切り替わります。</li> <li>カラー/補正が選択されているときに、このボタンを押して指を離すと、値(遅延時間/補正)を増やします。</li> </ol>
SELECT / -	<ol style="list-style-type: none"> <li>このボタンを押して指を離すと、レッドカラーモードになります。 (+)または(-)を使用して、調節してください。</li> <li>カラー/補正が選択されているときに、このボタンを押して指を離すと、値(遅延時間/補正)を減らします。</li> </ol>

注意:	<ol style="list-style-type: none"> <li>COLOR / +ボタンの操作 1 および 2 は 10 秒間でタイムアウトとなります。</li> <li>+と-を使って値を操作した場合、最大値から最小値、またはその逆(最小値から最大値)へと循環して変更することはできません。このような場合には、必要に応じて、これ以外のボタンを使用するようにしてください。</li> </ol>
-----	--

## LED ランプの表示

CE350/CE370 のローカルとリモートユニットのフロントパネルにある LED ランプは下表のように操作状況を表示します。

### CE350L/CE370\_L(ローカルユニット)

LED ランプ	操作モード	
	ローカル	オート
ローカル (グリーン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ローカルコンソールがアクティブな時に点灯します(リモート LED ランプは消灯)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ ローカルコンソールがアクティブな時に点灯します(リモート LED ランプは消灯)。</li> <li>◆ リモートコンソールがアクティブな時は消灯します(リモート LED ランプは点灯)。</li> <li>◆ ローカルとリモートコンソールの両方ともがアクティブでない時には、リモート LED ランプと交互に点滅します。</li> </ul>
リモート (グリーン)	LED ランプは消灯しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ リモートコンソールがアクティブな時に点灯します(ローカル LED ランプは消灯)。</li> <li>◆ ローカルコンソールがアクティブな時には消灯します(ローカル LED ランプは点灯)。</li> <li>◆ ローカルとリモートコンソールの両方ともがアクティブでない時には、ローカル LED ランプと交互に点滅します。</li> </ul>

## CE350R(リモートユニット)

LED ランプ	説明
LINK (オレンジ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 点灯状態が継続している場合は、ローカルユニットの接続が正常であることを表します。</li> <li>◆ 点滅している場合は、リモートユニットとの接続に問題があることを表します。リモート LED ランプは消灯しています。</li> </ul>
REMOTE (レッド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 点灯状態が継続している場合は、リモートコンソールがアクティブであることを表します。</li> <li>◆ 消灯している場合は、ローカルコンソールがアクティブであることを表します。</li> <li>◆ 点滅している場合は、システムがオートモードであることを表します。</li> </ul>
画質補正 (ブルー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 画質補正ボタン (+ または -) が押され、CE350 がビデオゲインを調整中である*ことを表します。</li> <li>◆ 点灯状態が継続している場合はビデオゲインの調整が終了し、保存されていることを表します。</li> </ul>

**注意：** 画質補正プッシュボタンがひとたび押されると、10 秒間でタイムアウトとなります。

## CE370RQ (リモートユニット)

LED ランプ	説明
B(ブルー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 点滅している場合は、ブルーカラーが選択され、プッシュボタンでブルーカラーの信号遅延を調整できることを表します。</li> </ul>
LINK /G (オレンジ/グリーン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ オレンジに点灯している場合は、ローカルユニットへの接続が正常であることを表します。</li> <li>◆ オレンジに点滅している場合は、ローカルユニットとの接続に問題があることを表します。リモート LED ランプ(レッド)は消灯しています。</li> <li>◆ グリーンに点滅している場合は、グリーンカラーが選択され、プッシュボタンでグリーンカラーの信号遅延を調節できることを表します。</li> </ul>
REMOTE /R(レッド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ レッドに点灯している場合は、リモートコンソールがアクティブであることを表します。</li> <li>◆ 消灯している場合は、ローカルコンソールがアクティブであることを表します。</li> <li>◆ 点滅している場合は、システムがオートモードであることを表します。</li> <li>◆ レッドに点滅している場合は、レッドカラーが選択され、プッシュボタンでレッドカラーの信号遅延を調整できることを表します。</li> <li>◆ レッドとグリーンの LED ランプの両方が点滅している場合は、画質補正が選択され、プッシュボタンで画質補正の調整を行えることを表します。</li> </ul>

# 付録

## 製品仕様

### CE350

機能	CE350L	CE350R
コンピューター接続数		
ダイレクト	1	–
コンソール接続数		
ローカル	1	–
リモート	–	1
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード/マウス:PS/2	–
コンソール側 対応インターフェース	キーボード/マウス:PS/2	キーボード/マウス:PS/2
コネクタ		
KVM ポート	キーボード/マウス/モニター: SPHD メス(イエロー)×1 スピーカー:ステレオミニジャック ×1 マイク:ステレオミニジャック×1	–
コンソールポート	キーボード:ミニ DIN6 ピン メス ×1 マウス:ミニ DIN6 ピン メス×1 モニター:D-Sub 15 ピン メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック ×1 マイク:ステレオミニジャック×1	キーボード:ミニ DIN6 ピン メス ×1 マウス:ミニ DIN6 ピン メス×1 モニター:D-Sub 15 ピン メス ×1 スピーカー:ステレオミニジャック ×1 マイク:ステレオミニジャック×1

(表は次のページに続きます)

機能	CE350L	CE350R
RS-232	DB-9 ピン メス×1	DB-9 ピン オス×1
電源	DC 電源ジャック×1	DC 電源ジャック×1
ユニット間	RJ-45×1	RJ-45×1
<b>プッシュボタン</b>		
操作モード選択	プッシュボタン×1	－
画質補正	－	補正 / Up:プッシュボタン×1 補正 / Down:プッシュボタン×1
<b>LED</b>		
ローカル	グリーン×1	－
リモート	グリーン×1	レッド×1
リンク	－	オレンジ×1
画質補正	－	ブルー×1
<b>エミュレーション</b>		
キーボード/マウス	PS/2	PS/2
解像度	1920×1200@60Hz(30m)、 1600×1200@60Hz(150m)、 DDC2B 準拠	1920×1200@60Hz(30m)、 1600×1200@60Hz(150m)、 DDC2B 準拠
最大延長距離(解像度)	150m (1,600×1,200@60Hz)	150m (1,600×1,200@60Hz)
<b>電源入力</b>		
電源アダプター	型番:0AD8-0605-24EG または 0AD8-0605-24MG 入力:AC100～240V 50/60Hz 出力:DC5.3V / 2.4A	型番:0AD8-0605-24EG また は 0AD8-0605-24MG 入力:AC100～240V 50/60Hz 出力:DC5.3V / 2.4A
<b>電源</b>		
消費電力	DC5.3V:2.87W	DC5.3V:4.85W
<b>動作環境</b>		
動作温度	0～50℃	0～50℃
保管温度	-20～60℃	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと	0～80% RH、結露なきこと

(表は次のページに続きます)



機能	CE350L	CE350R
<b>ケース</b>		
ケース材料	メタル	メタル
重量	0.50 kg ( 1.1 lb )	0.50 kg ( 1.1 lb )
サイズ(W×D×H)	202×87×25 mm	202×87×25 mm
<b>同梱品</b>	(CE350 の同梱品) 2L-5302P(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	CE350 の同梱品) 2L-5302P(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1

## CE370

機能	CE370L	CE370RQ
コンピューター接続数		
ダイレクト	1	–
コンソール接続数		
ローカル	1	–
リモート	–	1
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード/マウス:PS/2	–
コンソール側 対応インターフェース	キーボード/マウス:PS/2	キーボード/マウス:PS/2
コネクタ		
KVM ポート	キーボード/マウス/モニター: SPHD メス(イエロー)×1、 スピーカー:ステレオミニジャック×1 マイク:ステレオミニジャック×1	–
コンソールポート	キーボード:ミニ DIN6 ピン メス×1 マウス:ミニ DIN6 ピン メス×1 モニター:D-Sub 15 ピン メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1 マイク:ステレオミニジャック×1	キーボード:ミニ DIN6 ピン メス×1 マウス:ミニ DIN6 ピン メス×1 モニター:D-Sub 15 ピン メス×1 スピーカー:ステレオミニジャック×1 マイク:ステレオミニジャック×1
RS-232	DB-9 ピン メス×1	DB-9 ピン オス×1
電源	DC 電源ジャック×1	DC 電源ジャック×1
ユニット間	RJ-45×1	RJ-45×1

(表は次のページに続きます)

機能	CE370L	CE370RQ
<b>プッシュボタン</b>		
操作モード選択	プッシュボタン×1	－
色	－	プッシュボタン×1
選択	－	プッシュボタン×1
<b>LED</b>		
ローカル	グリーン×1	－
リモート	グリーン×1	－
B	－	ブルー×1
G	－	(リンク) オレンジ/グリーン×1
R	－	(リモート) レッド×1
<b>エミュレーション</b>		
キーボード/マウス	PS/2	PS/2
解像度	1920×1200@60Hz(150m)、 1280×1024@60Hz(300m)、 DDC2B 準拠	1920×1200@60Hz(150m)、 1280×1024@60Hz(300m)、 DDC2B 準拠
最大延長距離(解像度)	300m (1,280×1,024@60Hz)	300m (1,280×1,024@60Hz)
<b>電源入力</b>		
電源アダプター	型番:0AD8-0605-24EG または 0AD8-0605-24MG 入力:AC100～240V 50/60Hz 出力:DC5.3V / 2.4A	型番:0AD8-0605-24EG または 0AD8-0605-24MG 入力:AC100～240V 50/60Hz 出力:DC5.3V / 2.4A
<b>電源</b>		
消費電力	DC5.3V:2.70W	DC5.3V:4.53W
<b>動作環境</b>		
動作温度	0～50℃	0～50℃
保管温度	-20～60℃	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと	0～80% RH、結露なきこと

(表は次のページに続きます)

機能	CE370L	CE370RQ
<b>ケース</b>		
ケース材料	メタル	メタル
重量	0.50 kg ( 1.1 lb )	0.50 kg ( 1.1 lb )
サイズ(W×D×H)	202×87×25 mm	202×87×25 mm
<b>同梱品</b>	(CE370 の同梱品) 2L-5302P(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1	(CE370 の同梱品) 2L-5302P(1.8m)ケーブル×1 電源アダプター×2 ラックマウントキット×1 クイックスタートガイド×1

## トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まずケーブルが各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

問題	解決方法
画面に何も表示されない	使用するケーブルがすべて正しく接続されていることを確認してください。
表示画質が悪い	Cat5e ケーブルをホットプラグしてデスキュー機能を起動させてください。  CE370RQ の COLOR/SELECT ボタンを使用してビデオ信号の増幅率を上げたり下げたりすることによって画質が改善することもあります。  リフレッシュレートを下げて表示画質を上げてください。

## SPHD コネクタについて



本製品は KVM ポート、またはコンソールポートに対して SPHD コネクタを使用しております。コネクタの形状に改良を加えておりますので、専用の KVM ケーブルのみ製品に接続することが可能です。